

南一郎平を朝ドラに！

日本三大疎水の父

南一郎平

ものがたり

問合せ
総合政策課企画調整係
(☎27-8109)

第4回 一郎平と松方正義

明治期において大蔵大臣や内閣総理大臣(第4代・第6代)を歴任した松方正義は、明治元年からの約2年半、初代日田県知事を務めるなど大分県とも縁の深い政治家です。

資金難や災害などで広瀬井路工事が幾度となく頓挫したため、一郎平らが事業の国営化を明治政府に陳情したこと、松方は明治2年に現地調査のため、宇佐を訪れました。そこで、工事のあまりの困難さに驚き、また関係者の長年の努力に感動し、自ら政府に掛け合っって国営化し、事業を完成に導きました。

その後、松方はサイフォン方式や石造りによる水路橋など水路づくりに関する一郎平の高い技術力を評価して、内



松方正義

(宇佐学マンガシリーズ⑤より抜粋)

務省に招き入れました。日本三大疎水と呼ばれる福島県の安積疎水など全国の大規模な水利開発に一郎平を従事させることで、松方はわが国の発展に貢献しました。

その松方が明治30年創刊の経済雑誌『実業之日本』の誌上において、一郎平を「隠れたる実業界の偉人」と称賛していることから、一郎平の偉大さが読み取れます。

市民劇「南一郎平」の公演が
11月20日(日)に決定しました！

追加キャストを募集
しています。詳しく
は市ホームページを
ご覧ください。



※宇佐学マンガシリーズ⑤「日本三大疎水の父 南一郎平」は市民図書館 電子分館で閲覧できます。

多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係
(☎27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

私は技能実習生として宇佐に住んでいます。車のさまざまな部品を作って組み立てる仕事で、毎朝6時に元気に起きます。仕事のときは、危険なことや注意すべきことがたくさんあって、終わる頃には疲れ切っています。「この道は私が選んだ道だから、最後まで頑張ろう」と自分に言い聞かせていました。職場の人は、困っている私にやさしい日本語やボディランゲージで教えてくれるので、仕事もだんだんとうまいくようになっていきました。私は市内にあるボランティアの日本語教室に通い、先生方のおかげで日本語が上手になりました。勉強だけでなく、浴衣を着て夏祭りに行ったり、市の体験事業などの楽しい活動にも参加したりしました。私たちの成長を温かく見守り、助けてくれるこの町の人々とこの町が第2の故郷になりました。私の頭の中は、感謝の気持ちでいっぱいです。



お便りをくれた方

名前 ドー マイ フォンさん 国籍 ベトナム
住所 南宇佐 職場 マレリ九州(株)

双葉山六十九連勝 その3

宇佐市長 是永修治

安芸ノ海に敗れた双葉山は、いつものように無言で引き揚げると、陽明学者の竹葉秀雄氏に「ワレイマダ モッケイタリ エズ フタバ」と打電。この電報は外遊途上にあった師匠の安岡正篤氏へも届けられました。木鶏とは『莊子』の故事に由来する言葉です。

《昔、闘鶏を育てる名人が王から強い鶏の訓練を頼まれます。10日たって王が「もう使えるか」と聞くと、名人は「空威張りの最中です」と答えます。さらに10日たって王が聞くと「敵の声や姿に興奮します」と答えます。また、10日たって聞くと「まだ駄目です。敵を見下すところがあります」と答えます。さらに10日たって聞くと「もうよろしいでしょう。いかなる敵にも無心です。その姿はまるで木鶏（木で作った鶏）のようです。徳が充実して天下無敵です」と答えました》

「新版 横綱の品格」によると大関の頃、安岡先生から木鶏の話を聞いた双葉山は、木鶏の境地に近づきたいと心がけます。そして70連勝ならずの日「木鶏たらんと努力してきたが、現実には木鶏たりえない自分を自証せざるを得なかった」と述懐しています。

最後に私事で恐縮ですが、私の川柳を紹介します。これは第36回大分合同新聞社読者文芸コンクールで第1席を受賞した作品です。泉談亭先生選。

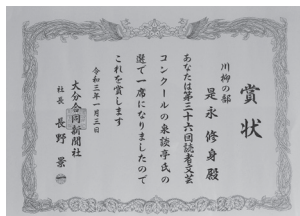
題「実」

木鶏を

目指し結実

双葉山

修身



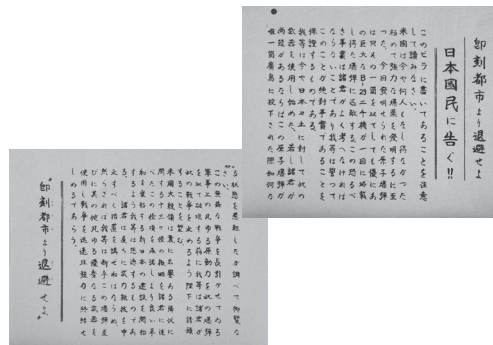
記憶をつなぐ

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

50 空襲予告ビラ

太平洋戦争末期、日本国民の戦意を喪失させ降伏をすすめるため、アメリカ軍が投下したビラです。さまざまなビラが全国各地にまかれましたが、これは広島への原爆投下直後にまかれたもので、降伏しなければ再度原爆を使用し、戦争を終結させるとも記されています。ビラを拾った人は、読まずに警察に届ける事とされていました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）